

2026年度
名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科

《入学志願票》

※受験番号				
※記入不要				
写真貼付				
・対4寸×3寸				
・3ヶ月以内に撮影したもの				
・写真票と同一のものを貼付				
課程	博士前期			
試験種類	社会人特別入試			
フリガナ				
氏名	性別	男・女		
生年月日	年 月 日	年齢	歳	
学 歴 (西歴)	学校名	学部・学科／研究科	在学年数 ^{注)}	在籍期間 ()内の該当するものに○を記入 (西暦)
	小学校		年	年 月～ 年 月
	中学校		年	年 月～ 年 月
	高等学校		年	年 月～ 年 月
	大学		年	年 月～ 年 月 (卒業・卒業見込)
			年	年 月～ 年 月 (卒業・卒業見込)
	(研究生等)		年	年 月～ 年 月
	大学院		年	年 月～ 年 月 (修了・修了見込)
		年	年 月～ 年 月 (修了・修了見込)	
取得学位	1. 学士 2. 修士 3. 博士			
フリガナ				
現住所	〒 -		電話:() -	
eメール:	@	携帯:() -		
フリガナ				
書類等送付先	〒 -		電話:() -	
現住所と異なる場合のみ記入	eメール:	@		

注)「在学年数」には、休学期間を算入しないこと
外国籍志願者は必ず裏面の記載欄も記載すること

長期履修学生制度 による履修	①希望する(○を記入) ⇒ ②希望する在学期間を○で囲む		③希望しない(○を記入)
	①	② 1. 3年 2. 4年	③

希望する指導教授

指導教授	
------	--

(注)「指導教授」は志望するコースの教員を記載すること

(裏面に続く)

以下は外国籍志願者のみ記載

国 籍		母国語(母語※) ※母国語と異なる場合記載のこと	
本 国 の 住 所	〒 — eメール: @ 電話:() — 携帯:() —		
パスポート表記氏名		在留カード番号	
入 国 年 月 日	年 月 日	入 国 目 的	
在 留 資 格		在 留 期 限	年 月 日

注 「在留カード番号」・「入国年月日」・「入国目的」・「在留の資格」・「在留期限」は、日本国内在住の者のみ記載

就学に係る経費支弁者

氏 名	印	本人との関係	
住 所	〒 — eメール: @ 電話:() — 携帯:() —		
勤 務 先			
勤 務 先 の 所 在 地	〒 — eメール: @ 電話:() —		

注 支弁者は独立の生計を営み、就学に係る経費の支弁能力を有する者であること（志願者本人でも可）必ず、支弁者本人が記入し、捺印（署名）をすること

2026年度
名古屋外国語大学大学院
国際コミュニケーション研究科
《受験票》

課程	博士前期
試験種類	社会人特別入試
※受験番号	
フリガナ	
氏名	

※印の欄には記載しない

2026年度
名古屋外国語大学大学院
国際コミュニケーション研究科
《写真票》

課程	博士前期
試験種類	社会人特別入試
※受験番号	
フリガナ	
氏名	
※確認欄	

※印の欄には記載しない

2026年度
名古屋外国語大学大学院
国際コミュニケーション研究科
《座席票》

課程	博士前期
試験種類	社会人特別入試
※受験番号	
フリガナ	
氏名	

※印の欄には記載しない

2026年度
名古屋外国語大学大学院
国際コミュニケーション研究科
《入学検定料振込証明書貼付票》

大学院
入学検定料振込証明書

銀行等金融機関で入学検定料の振り込みを済ませた後、「振込証明書」をこの欄へ貼ること

証明書が貼っていない場合及び取扱銀行等金融機関の受付印のない場合は、入学願書の受付をしない

所定書式をダウンロードして使用する場合は、本学所定の振込用紙を入手できないため銀行備え付けの振込用紙、もしくは現金自動預支払機(ATM)やネットバンキング等を利用して振り込み、振込の控をこの欄に貼る、もしくはそのまま出願書類に同封すること
(控のコピーを取って、手元に保管しておくこと)

試験日
2026年2月14日(土)

写真貼付欄

- ・474^号×313^号
- ・3ヶ月以内に撮影したもの
- ・入学志願票と同一のものを貼付

通信欄

名古屋外国語大学
愛知県日進市岩崎町竹ノ山57
〒470-0197 電話(0561)74-1111(代表)

2026年度
名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科

《研究計画書》

※受験番号	
-------	--

※記入不要

課 程	博士前期
-----	------

フリガナ	
氏 名	

志望する コース	
-------------	--

研究題目	
------	--

主に次の点について、1,600字程度(参考文献の字数は含まず)で簡潔に記入すること。

- ①研究テーマとその研究理由(研究対象や調査対象を含む)
- ②研究方法と具体的な研究手法(文献研究、アンケート調査、インタビューなど具体的な研究の進め方)
- ③計画する研究(在学)期間(2年、3年等)と論文を完成させるまでのスケジュール

-
- (注) 1. この様式C-1に必要事項を記入し、研究計画書の表紙として使用すること。
2. 本文については横書きとし、様式C-2を適宜コピーして使用すること。(Word等の文書作成ソフト使用可)
また、各ページに氏名とページ番号を記入すること。
Word等の文書作成ソフトで作成した本文は切り貼りせず、C-2に「別紙参照」と記し、クリップでとめること。
3. 提出の際は、表紙を上にして、クリップでとめること。

氏名	
----	--

ページ番号	
-------	--

《経 歴 書》

課 程	博士前期課程		
試験種類	社会人特別入試		
フリガナ		性別	男・女
氏 名			
生年月日	年	月	日
学 歴			
〔 小学校入学から最終学校の卒業（修了）までの学歴について記載 〕 ※大学・大学院については、学科、専攻も記入すること			
(西暦)	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

(裏面に上記学歴以外の経歴について記載すること)

提出年月日	年 月 日
-------	-------

本人署名	
------	--

※ 整理番号 (個別審査)	
------------------	--

※ 受験番号	
--------	--

※記入不要

経 歴

〔学歴を除く職歴、留学経験、国際的な協力事業への参加・活動経験、資格取得等について種類ごとに記載してください。〕

(西暦)

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

年 月 ～ 年 月

《就学に係る経費負担計画書》

※ 受験番号	
-----------	--

※記入不要

課 程	博士前期
試験種類	社会人特別入試
フリガナ	
氏 名	

名古屋外国語大学在学中の学費や生活費をどのように支払う計画をしているのか、学費・生活費の目安(10ページ)を参考にして、1年間の収入予定及び支出予定について記載すること

(単位 : 円)

学費支弁者 <small>該当するものを○で囲む</small>	① 本人 ② 本国の両親または親戚 ③ 日本に居住する経費支弁者 ④ その他()	
生活費支弁者 <small>該当するものを○で囲む</small>	① 本人 ② 本国の両親または親戚 ③ 日本に居住する経費支弁者 ④ その他()	
現在の貯蓄	本人の貯蓄	円
	両親または親戚の貯蓄	円
収入予定	本人の収入	円(年間)
	(収入の内容)	
	本国からの送金	円(年間)
	日本に居住する支弁者からの送金	円(年間)
	政府またはその他財団からの奨学金	円(年間)
	(団体・奨学金の名称)	
	その他の収入	円(年間)
	1年間の収入の合計	円
支出予定	学費(入学金・授業料・教育充実費)	1,170,000 (909,000)注 円(1年次年間)
	アパート等の家賃	円(年間)
	生活費	円(年間)
	その他の支出	円(年間)
		1年間の支出の合計

注) 各収入・支出の内訳について、裏面に具体的に記載すること

()は本学「私費外国人留学生の授業料減免に関する規程」により、学費のうち授業料の30%が減免された場合の金額

《 事前審査申請書 》

※該当するものの口に✓を記入

《 個別審査申請書 》

提出年月日	20 年 月 日
-------	----------

名古屋外国語大学大学院
国際コミュニケーション研究科長 殿

私は、大学院出願資格の 事前審査 個別審査 を受けたいので、申請致します。

本人署名	
------	--

課 程	博士前期		
試験種類	社会人特別入試		
志望するコース			
フリガナ		性別	男・女
氏 名		年齢	歳
生年月日	年 月 日		
フリガナ	〒 -		
現 住 所	eメール: @ 電話: () - 携帯: () -		
フリガナ	〒 -		
書類等送付先	eメール: @ 電話: () -		
現住所と異なる場合のみ記入			

※整理番号	
-------	--

※記入不要

